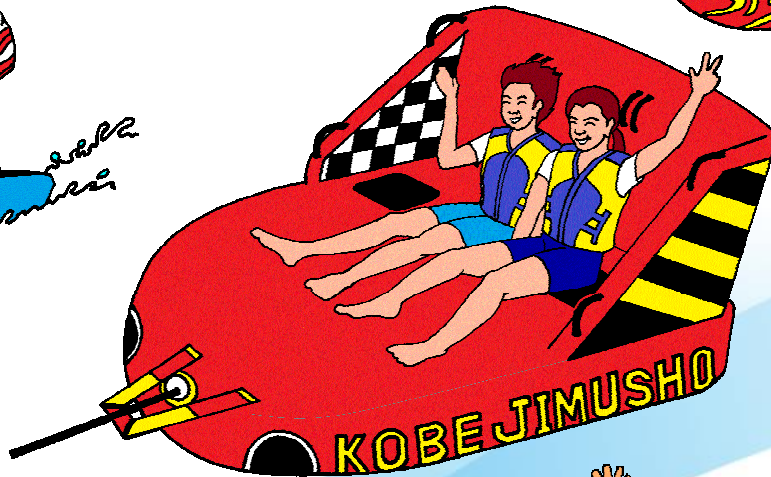


# 水上遊具

# こんなことにも気をつけて!

~正しく使って楽しさ倍増~



運輸安全委員会事務局 神戸事務所

## CASE 1 後ろを見ずに旋回したときに搭乗者が落水

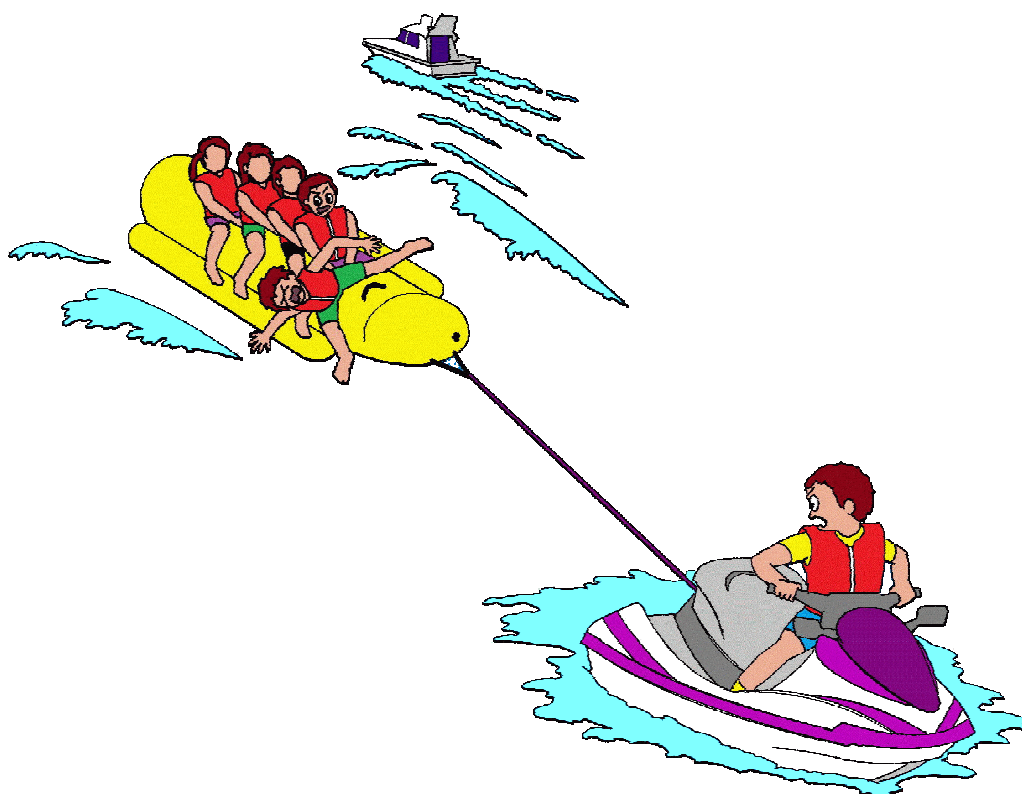
水上オートバイが、1人を乗せた浮体\*を引っ張りながら遊走中、浮体の搭乗者がバランスを崩していることに気付かずに旋回を始め、搭乗者が落水し、右腕上部を打撲しました。



\* 運輸安全委員会では、船に引っ張られるバナナボートなどを「浮体」としています。

## CASE 2 他の船の航走波を受けて搭乗者が落水

水上オートバイが、5人を乗せた浮体を引っ張りながら遊走中、他の船の航走波を受け、浮体の最前部に座っていた搭乗者が落水し、左足の靭帯じんたいを損傷しました。



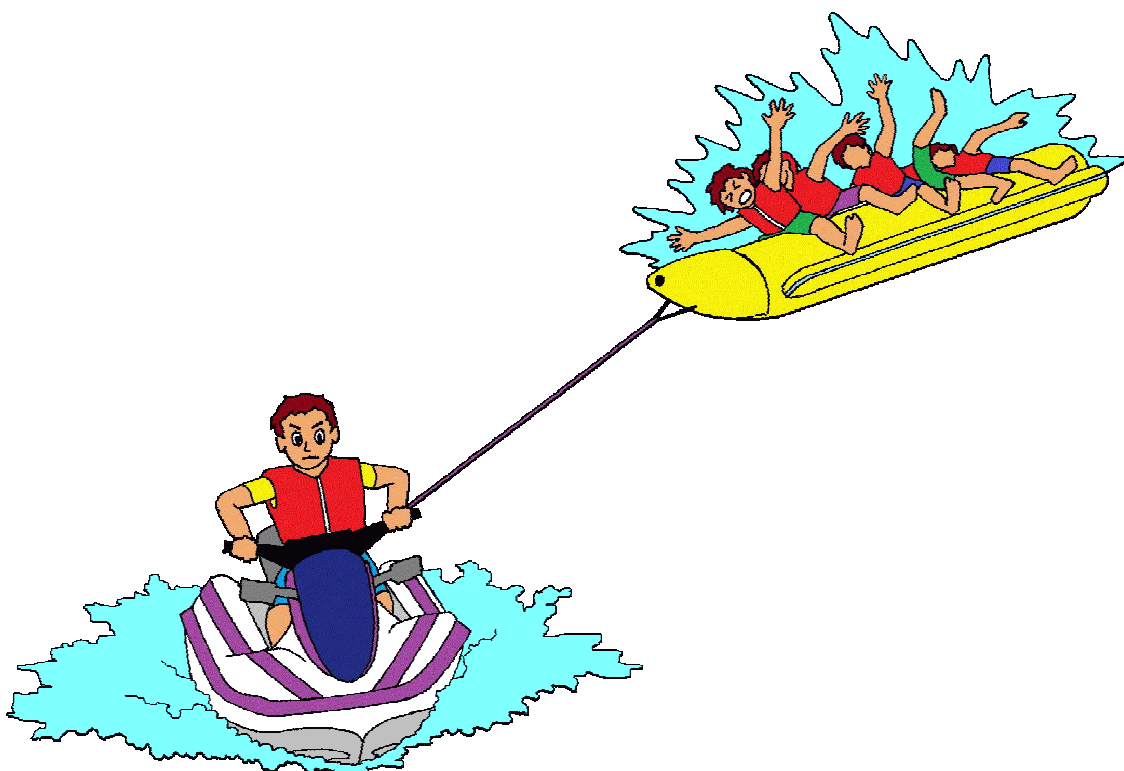
### CASE 3 旋回により振れていた浮体が他の船と衝突

水上オートバイが、3 人を乗せた浮体を引っ張り、右旋回、左旋回及び蛇行を行いながら遊走中、振れていた浮体が止まっていたプレジャーボートに衝突し、搭乗者のうち 1 人の頭部がプレジャーボートに当たり、他の 2 人の互いの頭部が当たってそれぞれ負傷しました。



### CASE 4 高速力で旋回をしたときに搭乗者が落水

水上オートバイが、5 人を乗せた浮体を引っ張り、約 50km/h の速力で旋回を繰り返しながら遊走中、搭乗者全員が落水し、うち 1 人が肋骨を骨折しました。



## 再発防止策

浮体を引っ張るときの準備や注意を怠ると、搭乗者が負傷する事故などが起こることがあります。

操縦者はもちろん、浮体の搭乗者も次のことに気をつけましょう。

### 操縦者は...

- ・ 周囲に障害物がないことを確認し、海面の状況に応じてスピードを調整しましょう。
- ・ 常に後方に気を配りましょう。同乗者がいる場合には、浮体や搭乗者の監視を行ってもらうことも有効です。
- ・ 旋回や増速する前は、搭乗者に合図を行いましょう。
- ・ 船と浮体の進行方向が異なることもあるので、浮体の進行方向に注意しましょう。
- ・ 大きな航走波を出さないように注意しましょう。自らが引っ張る浮体や他の船に影響を及ぼすこともあります。
- ・ 浮体に複数で搭乗させる際は、ヘッドギアなどの頭部保護用具を装着させることも、けがの防止に有効です。

### 浮体の搭乗者は...

- ・ 旋回によって浮体が傾くこともあり、周りが見えなくなることがあります。
- ・ 落水時の衝撃で思わぬけがをすることがあります。
- ・ こわいと感じたときは、早めに操縦者に合図をしましょう。



～地図から探せる事故とリスクと安全情報～

<http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>

### 運輸安全委員会事務局 神戸事務所

〒650-0042 神戸市中央区波止場町1番1号 神戸第2地方合同庁舎10階  
TEL 078-331-7258 FAX 078-392-1649  
E-MAIL kobjim-u58fh@mlit.go.jp

平成27年5月作成